NEWアダージオSTB

変額個人年金保険Ⅱ型2003

＜20年運用コースB＞

特別勘定の月次運用レポート
2024年3月末現在

○市場概況
○特別勘定の運用状況
○組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険のリスクと手数料について

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

●変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
●解約、一部解約（特別引出を除く）をした場合や年金受取開始日以降に年金を一括受取する場合等には、一時払保険料相当額の最低保証はありませんので、受取総額が一時払保険料相当額を下回ること（元本割れリスク）があります。
●保険関係費用：ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.37%の割合で資産残高から毎日控除されます。
●運用関係費用：ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.155%（税抜年率1.05%）程度の割合で信託財産から毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。
●年金管理費：年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
●解約控除：ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の解約、一部解約（特別引出を除く）をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7%～1%の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。
※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

＊この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用（「保険関係費用」「運用関係費用」）」と「年金受取期間中の費用（「年金管理費」）」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約控除」がかかります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

［引受保険会社］ オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

（管）ORI-034

市　　場　　概　　況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	3.07%	20.63%	26.72%	43.96%	38.35%
	TOPIX（東証株価指数）	3.47%	17.00%	19.16%	38.19%	41.69%
日本債券	NOMURA－BPI総合	▲ 0.11%	▲ 0.51%	0.37%	▲ 2.20%	▲ 4.98%
外国株式	MSCIコクサイ指数（除く日本、円換算ベース）	4.00%	15.34%	22.00%	41.25%	69.73%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	1.20%	5.04%	8.29%	15.80%	17.31%
外国為替	米ドル対円為替レート（仲値）	0.49%	6.75%	1.22%	13.39%	36.76%

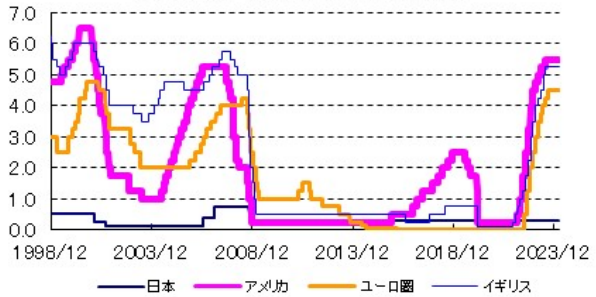
日経平均株価(円)の推移

日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移

先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移

＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移

全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定（ファンド）グループ

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計（百万円）
	株式		債券				投資信託	現預金その他	
	日本	外国	日本	外国					
世界バランスファンド（成長）ST	●	●	●	●	マイセレクション50VA1＊	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	96.3%	3.7%	43
世界バランスファンド（積極）ST	●	●	●	●	マイセレクション75VA1＊	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	96.9%	3.1%	54
世界バランスファンド PT	●	●	●	●	ピクテ・グローバル・バランス・オープンVA－C＊	ピクテ・ジャパン株式会社	96.1%	3.9%	50
マネーファンド MB			●		三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	97.0%	3.0%	208

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
マイセレクション50VA1＊	主に日本を含む世界各国の株式と公社債、および円短期金融商品に分散投資し（基本資産配分：株式50%、債券45%、短期金融資産5%）、信託財産の安定運用を目指します。
マイセレクション75VA1＊	主に日本を含む世界各国の株式と公社債、および円短期金融商品に分散投資し（基本資産配分：株式75%、債券22%、短期金融資産3%）、信託財産の安定運用を目指します。
ピクテ・グローバル・バランス・オープンVA－C＊	主に日本を含む先進各国の株式および公社債に分散投資（基本資産配分：株式50%、債券50%）することによって中長期的信託財産の安定的な成長を目指します。収益性と安定性をバランスよく追求します。
三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

世界バランスファンド（成長） ST

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	−1.35%	31.69%

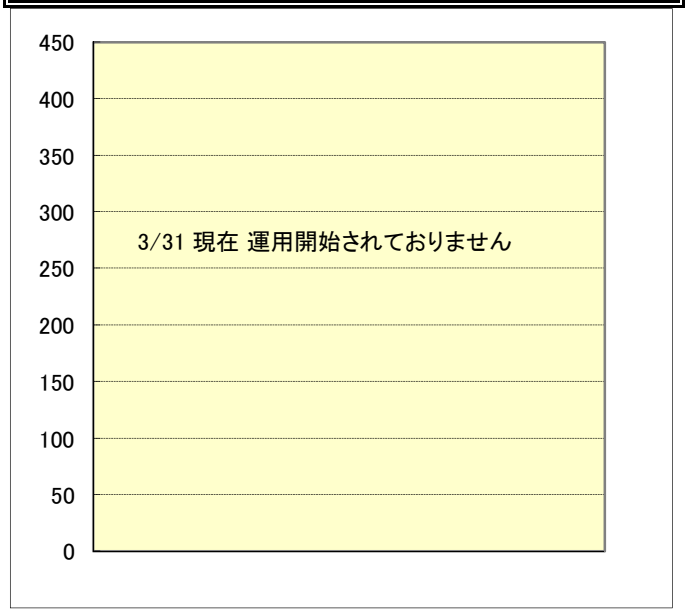
世界バランスファンド（積極） ST

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	9.31%

世界バランスファンド PT

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	1.98%	8.52%	12.54%	18.09%	17.95%	77.35%

マネーファンド MB



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	―	―	―	―	―	―

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド（成長）ST

【特別勘定が投資する投資信託】
マイセレクション50VA1（適格機関投資家専用）
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、および短期金融資産。主に「国内株式インデックス マザーファンド」、「国内債券インデックス マザーファンド」、「外国株式インデックスマザーファンド」、「外国債券インデックス マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

主に日本を含む世界各国の株式と公社債、および円短期金融商品に分散投資し（基本資産配分：株式50%、債券45%、短期金融資産5%）、信託財産の安定運用を目指します。

2024年3月29日現在

①当月末基準価額

基準価額	既払分配金(税引前)	純資産総額
27,775　円	40　円	66　百万円

②当ファンドの運用状況

※お客様本位でわかりやすい情報開示を行うために、2023年6月末基準より、株式を投資対象とするファンドの設定来からのベンチマークおよび参考指数を、ファンドの運用成果により近い「配当込み指数」に統一しました。

（単位：%）

【騰落率】	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	2.17	8.42	10.59	18.69	23.60	178.46
参考指数	2.20	8.55	10.91	19.37	25.97	205.12
差	−0.03	−0.13	−0.32	−0.68	−2.36	−26.66

【資産構成比と基準価額貢献度（月次）】　（単位：%）

資産	月末時価構成比	基本資産配分	差	基準価額騰落貢献度
国内株式	35.5	35.0	0.5	1.55
国内債券	38.8	40.0	−1.2	−0.04
外国株式	16.0	15.0	1.0	0.62
外国債券	4.9	5.0	−0.1	0.06
その他	4.8	5.0	−0.2	−0.02
合計	100.0	100.0	−	2.17

（注1）グラフデータは設定日から基準日までを表示しています。また、基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
（注2）参考指数は各組入資産のベンチマークを指数化したものに、その資産の基本資産配分を乗じたものの合計を、当初設定日を10,000として指数化した合成インデックスです。
（注3）騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
（注4）「基準価額騰落貢献度」の「その他」は、信託報酬、基本資産配分比差異効果及び資金流出入要因他です。
（注5）運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド（成長）ST

【特別勘定が投資する投資信託】
マイセレクション50VA1（適格機関投資家専用）
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

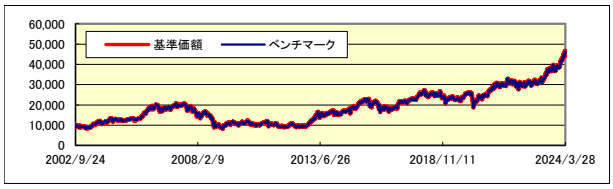
国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、および短期金融資産。主に「国内株式インデックス マザーファンド」、「国内債券インデックス マザーファンド」、「外国株式インデックスマザーファンド」、「外国債券インデックス マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

主に日本を含む世界各国の株式と公社債、および円短期金融商品に分散投資し（基本資産配分：株式50%、債券45%、短期金融資産5%）、信託財産の安定運用を目指します。

③ 資産（マザーファンド）毎の運用状況

【国内株式】



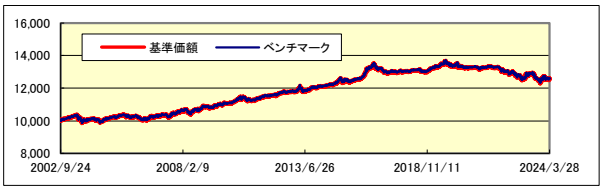
（単位：%）

＜騰落率＞	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	4.43	18.13	20.53	41.34	52.50	362.95
ベンチマーク	4.44	18.14	20.55	41.34	52.53	360.87
差	0.00	−0.01	−0.01	0.00	−0.03	2.08

＜市場の動き＞

国内株式市場は上昇しました。
前半は、2月後半の流れを受け堅調に推移したものの米半導体株の下落や為替市場で円高・米ドル安が進行したことなどから国内株式市場は下落に転じました。
後半は、日銀金融政策決定会合でマイナス金利の解除等が決定されたものの、金融政策における不透明感の後退から日本のデフレ脱却を期待した買戻しが進み、国内株式市場は反発しました。

【国内債券】



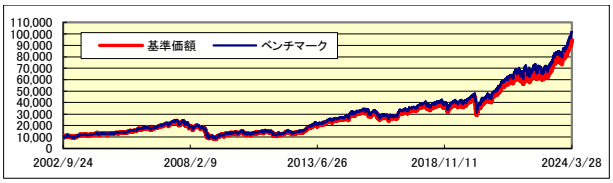
（単位：%）

＜騰落率＞	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	−0.11	−0.52	0.37	−2.18	−4.97	25.59
ベンチマーク	−0.11	−0.51	0.37	−2.20	−4.98	25.86
差	0.00	−0.01	−0.01	0.02	0.02	−0.27

＜市場の動き＞

国内債券市場では、10年国債利回りが0.725%に上昇（価格は下落）しました。
月前半は日銀が政策修正に踏み切るとの見方から利回りは一時0.795%まで上昇しました。マイナス金利解除や長短金利操作の終了が決定されたものの、日銀総裁の会見などから当面は緩和的な金融環境が続くとの観測が高まり、月後半は利回りが低下しました。

【外国株式】



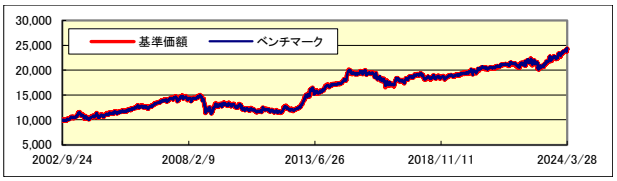
（単位：%）

＜騰落率＞	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	4.17	15.87	22.91	43.73	78.94	841.34
ベンチマーク	4.24	15.87	23.10	44.19	80.28	917.87
差	−0.07	0.00	−0.19	−0.46	−1.34	−76.54

＜市場の動き＞

米国株式市場は上昇しました。FOMC（米連邦公開市場委員会）の結果が総じてハト派的と受け止められたことや、米国経済が軟着陸に向かうとの見方が強まったことが市場心理を支えました。
欧州株式市場は上昇しました。BOE（英中央銀行）やECB（欧州中央銀行）の高官から先行きの利下げ開始を示唆する発言が続いたことや、景況感指数の改善などにより域内の景気底入れが意識されたことから上昇しました。

【外国債券】



（単位：%）

＜騰落率＞	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	1.25	4.38	8.03	14.96	16.65	142.56
ベンチマーク	1.20	5.04	8.29	15.80	17.31	143.63
差	0.04	−0.66	−0.26	−0.85	−0.66	−1.08

＜市場の動き＞

米国10年国債利回りは低下しました。物価指標が上振れたものの、FOMC（米連邦公開市場委員会）で年内の利下げ見通しが保持されたことから、年央に利下げが開始されるとの見方が維持され、利回りは低下しました。
ドイツ10年国債利回りは低下しました。域内景気の低迷やスイス国立銀行の利下げなどを背景に利回りは低下しました。

＜各資産のベンチマーク（グラフはマイセレクション50VA1の当初設定日を10,000として指数化し、設定日から基準日までを表示。）＞
国内株式：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）　　外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）
国内債券：NOMURA-BPI 総合　　外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド（積極）ST

【特別勘定が投資する投資信託】
マイセレクション75VA1（適格機関投資家専用）
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、および短期金融資産。主に「国内株式インデックス マザーファンド」、「国内債券インデックス マザーファンド」、「外国株式インデックス マザーファンド」、「外国債券インデックス マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

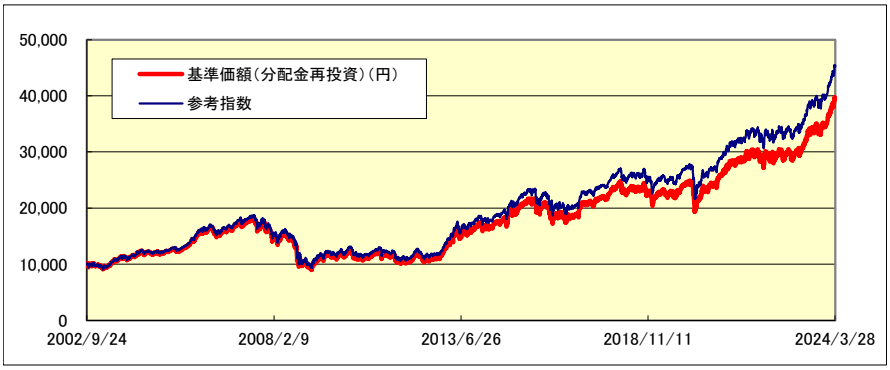
主に日本を含む世界各国の株式と公社債、および円短期金融商品に分散投資し（基本資産配分：株式75%、債券22%、短期金融資産3%）、信託財産の安定運用を目指します。

2024年3月29日現在

①当月末基準価額

基準価額	既払分配金(税引前)	純資産総額
39,497　円	60　円	71　百万円

②当ファンドの運用状況



※お客様本位でわかりやすい情報開示を行うために、2023年6月末基準より、株式を投資対象とするファンドの設定来からのベンチマークおよび参考指数を、ファンドの運用成果により近い「配当込み指数」に統一しました。

（単位：%）

【騰落率】	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	3.33	12.98	16.00	30.29	40.85	296.39
参考指数	3.32	13.04	16.31	30.99	43.96	353.53
差	0.01	−0.06	−0.31	−0.70	−3.11	−57.14

【資産構成比と基準価額貢献度（月次）】　（単位：%）

資産	月末時価構成比	基本資産配分	差	基準価額騰落貢献度
国内株式	49.9	50.0	−0.1	2.22
国内債券	17.0	17.0	−0.0	−0.02
外国株式	25.2	25.0	0.2	1.04
外国債券	5.0	5.0	0.0	0.06
その他	3.0	3.0	−0.0	0.03
合計	100.0	100.0	−	3.33

（注1）グラフデータは設定日から基準日までを表示しています。また、基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
（注2）参考指数は各組入資産のベンチマークを指数化したものに、その資産の基本資産配分を乗じたものの合計を、当初設定日を10,000として指数化した合成インデックスです。
（注3）騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
（注4）「基準価額騰落貢献度」の「その他」は、信託報酬、基本資産配分比差異効果及び資金流出入要因他です。
（注5）運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド（積極） ST

【特別勘定が投資する投資信託】
マイセレクション75VA1（適格機関投資家専用）
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

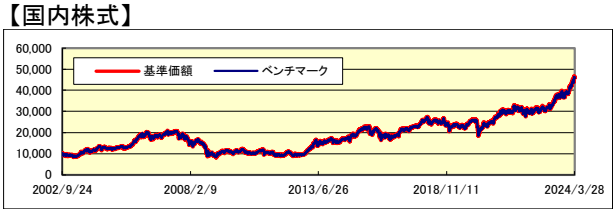
国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、および短期金融資産。主に「国内株式インデックス マザーファンド」、「国内債券インデックス マザーファンド」、「外国株式インデックス マザーファンド」、「外国債券インデックス マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

主に日本を含む世界各国の株式と公社債、および円短期金融商品に分散投資し（基本資産配分：株式75%、債券22%、短期金融資産3%）、信託財産の安定運用を目指します。

③ 資産（マザーファンド）毎の運用状況

【国内株式】



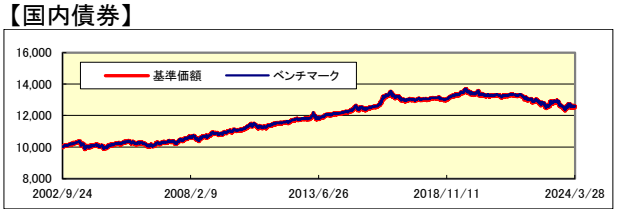
（単位：%）

＜騰落率＞	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	4.43	18.13	20.53	41.34	52.50	362.95
ベンチマーク	4.44	18.14	20.55	41.34	52.53	360.87
差	0.00	−0.01	−0.01	0.00	−0.03	2.08

＜市場の動き＞

国内株式市場は上昇しました。
前半は、2月後半の流れを受け堅調に推移したものの米半導体株の下落や為替市場で円高・米ドル安が進行したことなどから国内株式市場は下落に転じました。
後半は、日銀金融政策決定会合でマイナス金利の解除等が決定されたものの、金融政策における不透明感の後退から日本のデフレ脱却を期待した買戻しが進み、国内株式市場は反発しました。

【国内債券】



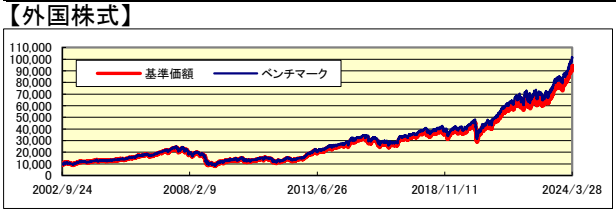
（単位：%）

＜騰落率＞	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	−0.11	−0.52	0.37	−2.18	−4.97	25.59
ベンチマーク	−0.11	−0.51	0.37	−2.20	−4.98	25.86
差	0.00	−0.01	−0.01	0.02	0.02	−0.27

＜市場の動き＞

国内債券市場では、10年国債利回りが0.725%に上昇（価格は下落）しました。
月前半は日銀が政策修正に踏み切るとの見方から利回りは一時0.795%まで上昇しました。マイナス金利解除や長短金利操作の終了が決定されたものの、日銀総裁の会見などから当面は緩和的な金融環境が続くとの観測が高まり、月後半は利回りが低下しました。

【外国株式】



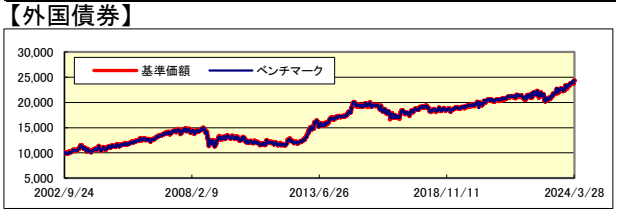
（単位：%）

＜騰落率＞	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	4.17	15.87	22.91	43.73	78.94	841.34
ベンチマーク	4.24	15.87	23.10	44.19	80.28	917.87
差	−0.07	0.00	−0.19	−0.46	−1.34	−76.54

＜市場の動き＞

米国株式市場は上昇しました。FOMC（米連邦公開市場委員会）の結果が総じてハト派的と受け止められたことや、米国経済が軟着陸に向かうとの見方が強まったことが市場心理を支えました。
欧州株式市場は上昇しました。BOE（英中央銀行）やECB（欧州中央銀行）の高官から先行きの利下げ開始を示唆する発言が続いたことや、景況感指数の改善などにより域内の景気底入れが意識されたことから上昇しました。

【外国債券】



（単位：%）

＜騰落率＞	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	1.25	4.38	8.03	14.96	16.65	142.56
ベンチマーク	1.20	5.04	8.29	15.80	17.31	143.63
差	0.04	−0.66	−0.26	−0.85	−0.66	−1.08

＜市場の動き＞

米国10年国債利回りは低下しました。物価指標が上振れたものの、FOMC（米連邦公開市場委員会）で年内の利下げ見通しが保持されたことから、年央に利下げが開始されるとの見方が維持され、利回りは低下しました。
ドイツ10年国債利回りは低下しました。域内景気の低迷やスイス国立銀行の利下げなどを背景に利回りは低下しました。

＜各資産のベンチマーク（グラフはマイセレクション75VA1の当初設定日を10,000として指数化し、設定日から基準日までを表示。）＞
国内株式：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）　　外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）
国内債券：NOMURA-BPI 総合　　外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド PT

【特別勘定が投資する投資信託】
ピクテ・グローバル・バランス・オープンVA－C（適格機関投資家専用）

【運用会社】
ピクテ・ジャパン株式会社

主要投資対象

外国株式、外国債券、国内株式、国内債券。主にピクテ・グローバル・バランス・オープン・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

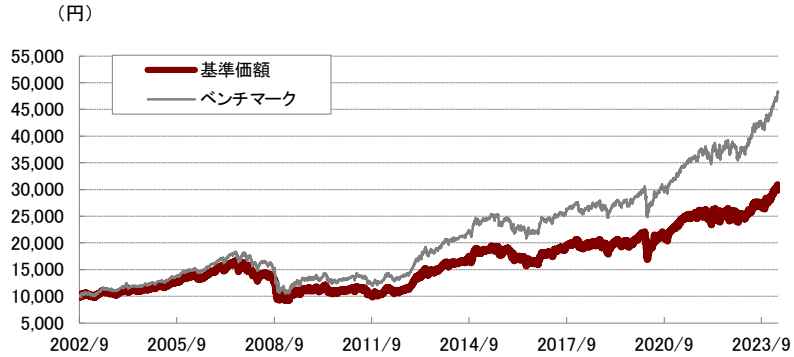
運 用 方 針

主に日本を含む先進各国の株式および公社債に分散投資（基本資産配分：株式50%、債券50%）することによって中長期的信託財産の安定的な成長を目指します。
収益性と安定性をバランスよく追求します。

《ファンドの状況》　（2024年3月29日現在）

基準価額（設定時）	30,809円　（10,000円）	純資産総額	48百万円
設定来高値	30,853円　（24/3/28）	設定来安値	9,239円　（09/1/26）
設定日	2002年9月25日	決算日	原則毎年4月20日

《設定来の基準価額の推移》



※基準価額は信託報酬等控除後。※ 当ファンドのベンチマークはMSCI世界株価指数（円ベース、配当再投資）50%＋FTSE世界国債指数（円ベース）50%です。グラフのベンチマークはファンドの設定日を10,000として指数化して表示しています。

《基準価額の騰落率》

	1ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.23	14.37	21.61	27.50	208.09
ベンチマーク	2.71	14.93	27.58	42.72	383.18
超過収益	−0.48	−0.56	−5.97	−15.22	−175.09

（注）上記の騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。また、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

《信託財産構成比》

	2024/3/29	2024/2/29
株式	52.0	51.6
米国	34.0	34.2
ドイツ	3.7	3.5
フランス	2.9	2.8
英国	2.9	2.9
スイス	2.5	2.5
台湾	1.4	1.3
オランダ	1.2	1.2
デンマーク	0.9	0.9
韓国	0.9	0.5
日本	0.9	0.9
その他	0.8	0.7
債券	46.2	45.7
米国	24.7	24.9
フランス	4.3	4.4
イタリア	4.3	4.4
ドイツ	2.8	2.4
英国	2.7	2.5
その他	7.5	7.0
コール・ローン等、その他	1.8	2.7

※信託財産構成比は、マザーファンドが実質的に投資している資産内容で、構成比は当ファンドにおける実質の比率を表示しております。小数点第2位を四捨五入していますので合計が一致しない場合があります。

【マーケット概況】
＜世界の株式市場＞
世界の株式市場は、AI（人工知能）普及拡大への期待を背景にハイテク銘柄が堅調となったことや、米連邦公開市場委員会（FOMC）が年内3回の利下げ見通しを維持したことなどから、続伸しました。業種別では、エネルギーや素材、公益事業などが相対的に大きく上昇しました。
＜世界の国債市場＞
世界の国債市場は、物価の下げ渋りを示す経済指標を受けて下落する局面があったものの、FOMCで今年3回の利下げを行うという見通しが据え置かれたことや、欧州中央銀行（ECB）がインフレ予測を引き下げたことなどを背景に、上昇（利回りは低下）しました。
＜為替市場＞
ドル・円為替市場は、日本銀行がマイナス金利政策を解除した後も緩和姿勢を維持するとの見方が広がり、日米の金利差があらためて意識されたことなどから、円安・ドル高基調が続きました。ユーロ・円為替市場は、日銀が緩和的な姿勢を継続するという見方と、ECBが6月に利下げを開始するとの思惑が交錯し、前月末とほぼ同水準に留まりました。
【運用状況】
当月の基準価額は上昇しました。株式、債券、為替がいずれもプラスに寄与しました。資産配分については、株式および債券の組入れを引き上げ、キャッシュの組入れを引き下げました。
【今後のポイント】
底堅い景気や欧米の早期利下げ観測を背景に、先進国の株式には引き続き強い上昇トレンドが見られる一方、米国を中心に株価の割高感も強まっています。このように投資環境には強弱両材料が混在し始めており、今後の状況が強弱どちらに傾くかを慎重に見極めていく方針です。当面は現金比率を低目に抑えつつも、必要に応じてポートフォリオのリスク量を引き下げることも検討します。
（※将来の市場環境の変動等により、上記の内容が変更される場合があります。）

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド PT

【特別勘定が投資する投資信託】
ピクテ・グローバル・バランス・オープンVA－C（適格機関投資家専用）

【運用会社】
ピクテ・ジャパン株式会社

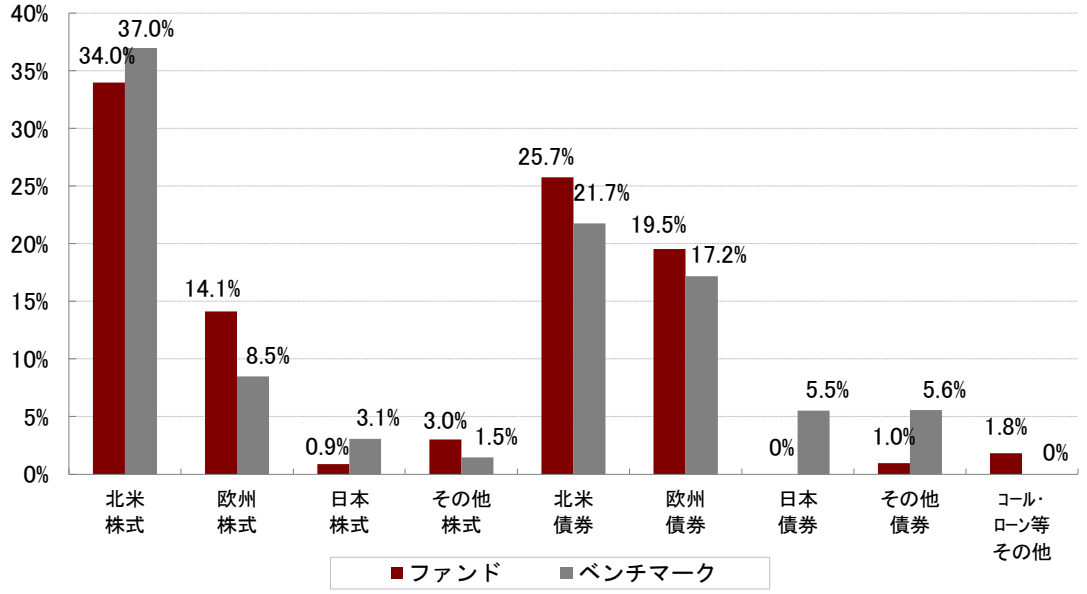
主要投資対象

外国株式、外国債券、国内株式、国内債券。主にピクテ・グローバル・バランス・オープン・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

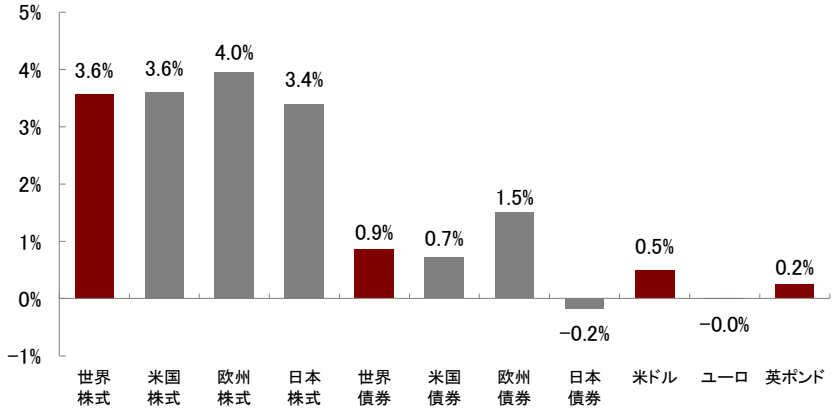
主に日本を含む先進各国の株式および公社債に分散投資（基本資産配分：株式50%、債券50%）することによって中長期的信託財産の安定的な成長を目指します。
収益性と安定性をバランスよく追求します。

資産別ポートフォリオとベンチマーク



※ファンドの構成比は、マザーファンドが実質的に投資している資産内容で、当ファンドにおける実質の比率

当月の世界市場の動き（現地通貨ベース）



（株式：MSCI地域別/国別指数、国債：FTSE地域別/国別指数、為替レート：対顧客電信売買相場の仲値）

基準価額変動要因分析

2月末基準価額	30,137円
3月末基準価額	30,809円
月間騰落額	+672円

（単位：円）

	株式	債券	為替	計
北米	+249	+78	+100	+428
欧州	+153	+86	−11	+228
日本	−3	−−	−−	−3
その他	+53	+5	−9	+49
計	+452	+169	+81	+702

＊信託報酬、他　−30

※ 小数点以下を四捨五入していますので合計が一致しない場合があります。

※当資料における実績は、税金控除前であり、実際の投資者利回りとは異なります。また、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。※当資料の図表で使用したデータの出所は次の通りです。 ○ベンチマーク：ブルームバーグ、ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッドおよびFTSEのデータを基にピクテ・ジャパン株式会社作成　○MSCI各種指数、FTSE各種指数：ブルームバーグ　○為替レート：一般社団法人投資信託協会　※当資料で使用したMSCI指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
マネーファンド MB

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ　MRF（マネー・リザーブ・ファンド）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

国内外の公社債、CP等の短期金融商品。

運　用　方　針

内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。
外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。

2024年3月29日現在

■資産構成

	評価金額（円）	比率
公社債	0	0.0%
（うち固定債）	(0)	0.0%
（うち変動利付債）	(0)	0.0%
短期金融資産	423,432,000,000	62.2%
（うちコールローン）	(354,432,000,000)	52.1%
（うちCD）	(0)	0.0%
（うちCP）	(0)	0.0%
（うち現先・レポ）	(69,000,000,000)	10.1%
（うち割引手形）	(0)	0.0%
その他資産	257,000,847,555	37.8%
純資産総額	680,432,847,555	100.0%

・固定債：変動利付債以外の債券。

■基準価額および純資産総額

基準価額	10,000円
純資産総額	6,804.33億円

■ポートフォリオ特性

平均残存日数	15.7日

■国内（邦価建）公社債（新株予約権付社債（転換債）を除く）明細表

	額面金額（円）	評価金額（円）	残存期間別組入比率			
			1年未満	1年以上	2年以上	5年以上
国債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地方債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特殊債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
金融債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
普通社債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■債券の格付分布

格付種類	比率
AAA格	0.0%
AA格	0.0%
A格	0.0%
BBB格	0.0%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

■短期金融商品(CP・CD)の格付分布

格付種類	比率
A－1格	0.0%
A－2格	0.0%
A－3格	0.0%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。・平均残存日数は組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・変動利付債の残存日数は、次回利払日までとして計算しています。・特殊債とは独立行政法人、公庫等の政府関係機関等、いわゆる特殊法人や特殊団体が特別の法律に基づいて発行する債券の総称です。・格付は、R&I、JCR、S&P、Moody'sのうち最も低い格付を表示しています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。